

(共同リリース)

報道関係者 各位

NEWS RELEASE (2025年 5月23日)

国立大学法人 鹿児島大学
日本航空株式会社
日本エアコミューター株式会社



操縦飛行体験 SKYCAMP プログラムが 第8回学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワードで 「優秀賞」を受賞

～鹿大、JAL、JACによる学生のキャリア形成支援、地域創生の取り組みが評価されました～

国立大学法人 鹿児島大学(所在地:鹿児島県鹿児島市、学長:井戸 章雄)、日本航空株式会社(所在地:東京都品川区、代表取締役社長:鳥取 三津子)、日本エアコミューター株式会社(所在地:鹿児島県霧島市、代表取締役社長:増村 浩二)が連携して実施する空飛バインターンシップ「操縦飛行体験 SKYCAMP プログラム」(*)が、「第8回 学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード」(主催:「学生が選ぶ キャリアデザインプログラムアワード」実行委員会、後援:経済産業省/厚生労働省/文部科学省/日本経済新聞社/マイナビ)において「優秀賞」を受賞し、5月15日(木)に日経ホール(東京)で表彰式が開催されました。

(*)「操縦飛行体験SKYCAMPプログラム」は、2020年に鹿児島大学と日本航空株式会社、日本エアコミューター株式会社の3者が連携し、地域課題に取り組むことを目的に締結した「地域密着型パイロット人材創出プログラムの実施に伴う連携協力協定」に基づき、鹿児島大学の学生を対象に行う実践型のインターンシップです。SKYCAMPを通じて参加学生の地域航空への関心を高め、鹿児島島の離島振興や地域特性を理解できるキャリア形成支援を行うことにより、鹿児島島で育まれた愛郷心を持つパイロットを輩出し、地域創生に寄与することを目指している取り組みです。

本アワードは、SKYCAMP参加学生によるアンケート評価後、一次選考を通過したプログラムを対象に100名規模の学生選考会による審査、さらに大学教員、企業、関係省庁などの専門領域に属する選考委員による第三者評価を経て、学生の社会的・職業的自立に寄与したキャリア支援プログラムが表彰されます。

第8回となる今回は、全国の企業・大学から計1,205件のプログラムが応募され、その中から本プログラムが選出されました。



【左から、JAC・鹿児島大学・JALの担当者】



【SKYCAMP参加学生】

【選出理由】

28の有人島を抱える鹿児島県の地理的特性及びパイロット不足への課題解決を目指す、3法人連携のパイロット育成プログラム。参加学生は自ら小型機を操縦する体験や実際の定期便運航に同行する体験を通じ、チームワークとリーダーシップを醸成。毎日の振り返り・共有の時間である「デブリーフィング」では学生主体の振り返りを行い、互いに教え合う関係性を構築。パイロット志願者に限定しない間口の広さにより、地域航空の裾野拡大に貢献するプログラムとして高く評価されました。

鹿児島大学とJALグループは、これからも連携・協力し、本事業を通じた人材育成・地域創生を目指し取り組んでまいります。

以上